

⑦ 産学ポスターセッション ～シーズとニーズの出会い～

聴講：無料 参加登録不要
発表：有料 要参加登録

10月9日(水)～11日(金) 10:00～16:00 展示棟 展示室1

各校の研究室の研究テーマを発表する場として、産学ポスターセッションを実施いたします。

表彰(新設):優秀ポスターセッション賞が設立されました。

【選考項目】①ポスターの質 ②発表内容の質 ③産業界からのニーズとのマッチング ④先進性・独創性

⑤今後、研究の相互協力の機会が期待できるか

【選考対象】10月10日(木)のコアタイム(10:00～11:00)に発表している大学

	学校名	学部・学科名	研究室名	研究テーマ	出展日		
					9日	10日	11日
①	関東学院大学大学院	工学研究科	武田克彦研究室、佐野慶一郎研究室	車の製造、走行、リサイクル、及び、走行に軽油、天然ガス、電気を用いた環境負荷の試算。	○	○	
②	埼玉工業大学	工学部機械工学科	マイクロ・ナノ工学研究室(長谷研究室)	摩擦界面をその場観察しながら AE 波を計測し、様々なトライボロジー現象を可視化した研究事例の紹介。	○	○	○
③	芝浦工業大学	工学部 機械機械工学科・情報工学科 システム理工学部 機械制御システム学科	運転支援システム研究室・普通システムデザイン研究室・情報システム工学・デジタルエンジニアリング研究室・情報工学研究室・情報ネットワーク研究室・宇宙産業・宇宙・水素エネルギー研究室・ヒューマンマシンシステム研究室	自動車の安全性・環境性に関する研究の事例の紹介。 例：ドライビングシミュレータを用いたドライバモデル、ドライバ特性、運転支援システムの研究。	○	○	○
④	長崎総合科学大学	工学部 工学科 機械工学コース	振動音響工学研究室	SEA パラメータ(振動エネルギー、CLF)を目的関数とする制振材料の適正配置に関する研究と加振実験のないエネルギーベースのモデル構築に関する研究の紹介		○	○
⑤	大阪府立大学大学院	工学研究科 機械系専攻	機械力学研究グループ(中川研究室)	パーソナルモビリティ・ビークルの操縦性向上及び操縦性の評価方法の提案を目的とした研究。	○	○	
⑥	首都大学東京	都市教養学部 理工学系	機械工学	ねじ締結体のゆるみ破壊および疲労破壊等の防止技術を、負荷解析法、寿命推定法および締結信頼性向上の視点で紹介。	○	○	○
⑦	日本大学	生産工学部	自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR)	水素燃料電池自動車用に開発が期待されている新しい電気ブレーキシステム技術について紹介。	○	○	
⑧	第一工業大学	工学部 機械システム工学科	飯屋(次世代自動車)研究室	自動車における検査制度を調査及び研究することにより、効果と課題を明確にして将来の検査制度について検討。		○	○
⑨	神奈川大学	工学部機械工学科	機械力学研究室(山崎研究室)	振動騒音問題をフロントローディング可能な、振動・音響エネルギー伝達に基づく構造設計手法などを紹介。	○	○	
⑩	東京農工大学	スマートモビリティ研究拠点	ドライブレコーダデータセンター	15年間のヒヤリハットデータの分析により抽出した、ドライバーに共通する運転上の問題点の最新成果。	○	○	○
⑪	日本工業大学大学院	電子情報メディア工学専攻	於保研究室	対地車速センサを用いてタイヤスリップとジャイロドリフトの影響を受けずに距離、旋回角を計測。	○	○	○
⑫	香川大学大学院	工学研究科・知能機械システム工学専攻	鈴木研究室	RSを用いた実験により二輪車予防安全システムの費用便益分析などの評価方法の報告。	○	○	○
⑬	三重大学大学院	工学研究科	人間支援システム研究室	自律走行や運転支援システムでのスムーズな運転に向けて、ヒトの運転時の特性を明らかにし、行動のモデル化や支援技術への応用方法について提案。	○	○	○
⑭	東北大学大学院	工学研究科	先端情報技術研究部	非接触生体センサから取得した運転中の脈波信号を分析してドライバの疲労予兆を検出。	○	○	
⑮	東京海洋大学大学院	流通情報工学部門	渡邊豊研究室	3D重心検知の商用車横転事故防止に実用化と運転者の疲労計測・自動運転支援。	○	○	○
⑯	琉球大学大学院	理工学研究科機械システム工学専攻	内燃機関工学研究室	燃料に微細気泡を混入し、燃料の噴霧、着火特性を変化させることにより RCCI 燃焼の制御手法の模索。	○	○	○
⑰	早稲田大学	理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学科	電動モビリティシステム研究室	・空転再粘着制御の向上 ・強め磁束制御による駆動領域拡大 ・磁気エアの適用 ・EV駆動システムの高効率化	○	○	○
⑱	近畿工業高等専門学校	総合システム工学科	車両運動計測制御研究室	ステアリングの機械力学エネルギーから、ドライバ操作と自動操舵との協調割合指標を導出し、携帯型 NIRS* 装置を用いてドライバ状態との関係について検討。 (*NIRS: 脳血流を計測する近赤外分光法)		○	○
⑲	日本大学・日本医科大学		日本大学工学部バイオメカニクス研究室 日本医科大学千葉北総病院救急救命センター	交通事故の調査解析に基づき乗員傷害評価の腰椎・腹部ダミーの開発。オランダ ESV 学生安全技術デザインコンペティション (SSTDC) で発表した研究成果報告。	○	○	○
⑳	中央大学	理工学部・精密機械工学	音響システム研究室	音の聞き分け力や高齢者の音源定位力等について明らかにし、最適な音情報を提示する方法を考案して生活環境の改善。	○	○	

※発表校及び発表日、発表の内容は予告なく変更になる場合がございます。